

第2章 前期計画期間の重点戦略

前期計画期間においては「市民協働の推進」「子育て支援・次世代を担う人材の育成」「市民生活に直結する都市基盤整備」を重点戦略と位置づけ、施策を進めてきました。その内容は次のとおりです。

1. 市民協働の推進

これからのまちづくりを進めるうえで、この3年間は、戦略計画の最初の3ヵ年であると同時に地域経営を進めていく重要な第一歩であり、戦略計画において本市がめざす地域社会のしくみである「だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土」を実現するための土台となる「協働による新しい地域社会」を構築するため、市民と市役所が協働するルールを定めるとともに、協働のパートナーづくりを進めました。

〔具体的取り組み内容〕

市民と市役所のそれぞれの立場や役割、責任を明確にする協働ガイドラインの策定

● 市民協働推進事業 (H20)

「市民協働のまちづくりガイドブック」を策定



市民協働のまちづくりガイドブック

市民協働のグループ立ち上げや活動の支援

● 公募型協働支援補助事業 (H20・21・22)

市民活動団体が行う公共性や創造性に富む事業を支援

〈採択事業数〉

H20 3件

H21 5件

H22 4件



「忠平猿尾」周辺の自然保護と散策路整備

市民活動センターなどボランティア・NPOの活動拠点の整備、参画・協働が必要な分野、業務の情報提供

● 市民活動の情報ステーション整備事業 (H20)

地域情報センター2階を市民協働によるまちづくりの拠点として整備



市民・協働ステーション

新たな地域自治のしくみについて、市民とともに研究・検討

● (仮称)自治基本条例検討事業 (H20・21・22)

「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」を制定



自治基本条例検討委員会

2. 子育て支援・次世代を担う人材の育成

少子化が進む中、次世代を担う子どもたちの健全な成長は、未来への希望あふれる都市づくりの根本であると考え、ライフスタイルが多様化する中で、誰もが暮らしやすく、子どもたちがのびのび育つまちを実現していくためには、子どもが成長する喜びを社会全体で共有し、見守っていくことが重要です。こうしたことから、子育てに関する不安を取り除き、地域全体の連携により安心して子どもを産み育てられる環境を整備するとともに、次世代を担う人材を育成するため、教育体制を充実させ、教育環境を整備しました。

〔具体的取り組み内容〕

子どもが安心して医療を受けられるよう、乳幼児医療助成の拡充

● 子ども医療費助成事業 (H20・21・22)

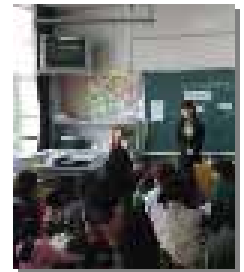
通院医療費の助成を平成 20 年 4 月診療分から小学 1 年生までに拡大
平成 22 年 7 月診療分からは小学 3 年生までに拡大



少人数指導などきめ細かい指導ができるよう、教育体制の充実

● 特別支援学級等支援職員配置事業 (H20・21・22)

特別な支援が必要な児童・生徒のため、10 名の支援職員を配置(平成 22 年から 4 名増員)



● 学校補助教員配置事業 (H20・21・22)

市内 15 小中学校に 17 名の学校補助教員を配置

市の保育サービス全体の活性化を図り、長時間の延長保育・休日保育等の新たな保育ニーズへの対応

● 子育て支援センター整備事業 (H20)

平成 21 年 7 月から宮田保育園 2 階に第 2 子育て支援センターを新設



第 2 子育て支援センター

● 保育園・児童館指定管理者制度導入事業 (H20・21・22)

平成 21 年 4 月から布袋北保育園、古知野児童館、藤ヶ丘児童館の管理運営を指定管理者に委託

● 次世代育成支援行動計画策定事業 (H20・21)

平成 22 年 3 月に「わくわく子育て夢プラン」(後期計画)を策定



わくわく子育て夢プラン

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進

● 放課後子どもプラン事業 (H20・21・22)

「放課後子ども教室」を平成 20 年 7 月から布袋小学校・宮田小学校に、平成 21 年 9 月から古知野南小学校に開設



放課後子ども教室の様子

3. 市民生活に直結する都市基盤の整備

高齢社会や人口減少社会の中、市民の日常生活を支える上で重要な役割を果たす社会資本については、狭隘な道路が多く、駅舎の老朽化対策やバリアフリー化が課題となっているなど、質量とも十分とは言えない状況です。また、長きに渡り市民病院の役割を果たしてきた2つの厚生連病院の統合による新病院(江南厚生病院)の誕生が地域に及ぼす影響は大きいと考え、こうしたことから、ライフスタイルや地域の特性に応じた住環境の中で生活し、身近な地域で様々な活動ができるよう市街地の整備、下水道整備など、市民生活に直結する都市生活基盤を重点的に整備しました。

〔具体的取り組み内容〕

名鉄江南駅のバリアフリー化と併せ、江南駅及び布袋駅周辺の整備、魅力的で快適な市街地形成の推進

- 江南駅バリアフリー化対策事業 (H20)
駅東口エレベーターの設置費を補助



江南駅エレベーター

- 都市計画道路整備事業(江南通線) (H20)
江南通線の交差点を改良

- 江南駅周辺交通環境改善事業 (H21)
駅周辺の交通量調査を実施

- 布袋地区都市再生整備計画策定事業 (H20)
平成21年度から25年度までの整備計画を策定



布袋駅周辺の様子

- 布袋南部土地区画整理事業 (H20・21・22)
布袋南部土地区画整理事業を推進

- 布袋保育園周辺整備事業 (H20・21・22)
布袋保育園周辺を整備

- 布袋駅付近鉄道高架化整備事業(H20・21・22)
鉄道高架化及び周辺地域の基盤を整備

- 都市計画道路整備事業(布袋本町通線) (H20・21・22)
鉄道高架化後の布袋駅へのアクセス道路整備のため用地を取得

地域再生計画の着実な推進、環境と市民生活が調和した豊かな生活の場の創造

- 曼陀羅寺公園整備事業 (H20)
藤の育成専門家に測量設計等を委託し、藤棚等を整備



曼陀羅寺公園の藤棚

- 遊歩道・サイクリングロード整備事業 (H20・21・22)
木曽川沿いに遊歩道・サイクリングロードを整備

- 花の広場整備事業 (H20・21・22)
草井町に花の広場を整備

- 緑化施設整備事業 (H20・21・22)
緑化施設を整備

- 江南厚生病院周辺基盤整備事業 (H20・21・22)
病院の建設事業や高度医療機器の購入に対し補助



江南厚生病院

市民と共有できるビジョンや方策を盛り込んだ都市計画を定め、実現性の高い都市計画の推進

- 都市計画マスタープラン策定事業 (H20)
都市計画の総合的な指針を策定



都市計画マスタープラン

- 緑の基本計画策定事業 (H21・22)
公園緑地の創出、保全及び都市緑化を推進する計画を策定